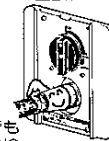
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

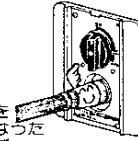
本社ガスビル サービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大　阪	06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大　阪	06 (652) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大　阪	06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺	0722 (38) 1131
北摂支社	〒569 高槻市藤の里39番6号	☎高　槻	0726 (71) 0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西　宮	0798 (26) 3101
東部支社	〒578 東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河　内	0729 (62) 1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町16番17号	☎枚　方	0720 (41) 1251-
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神　戸	078 (576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京　都	075 (231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈　良	0742 (44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山	0734 (31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫　路	0792 (85) 2221
東播支社	〒675 加古川市加古川町粟津29～1	☎加古川	0794 (21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊　岡	07962 (3) 2221
湖南支社	〒525 草津市追分町字荒堀680の1	☎草　津	0775 (62) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町9番41号	☎彦　根	0749 (22) 3131
(長浜営業所	〒526 長浜市南呉服町3番4号	☎長　浜	07496 (2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ガス ファンヒーター

保証書付

取扱説明書

	型式名
43-724 43-924 43-934 43-944 43-954	GS-25MS(G) GS-25MS(P)
43-725 43-925 43-935 43-945 43-955	GS-32MS(G) GS-32MS(P)

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

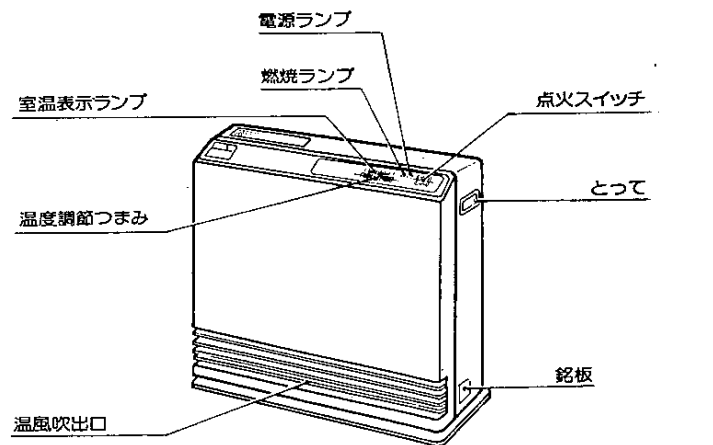
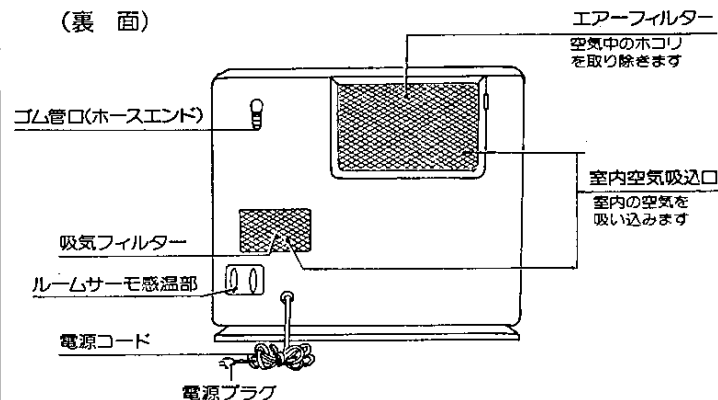
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガスファンヒーターをお求めいただきありがとうございました。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

換気にご注意

この器具は、強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

各部の名称

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

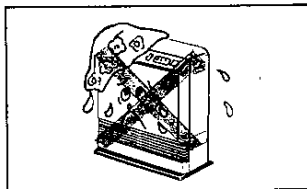
●ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

（銘　　板）

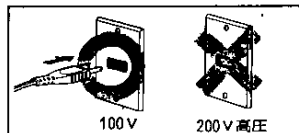
●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。転宅される場合には、部品の交換や調整が必要となります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

用途についてのご注意

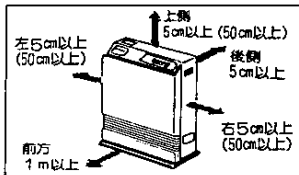
●暖房以外の用途(衣類の乾燥など)には使用しないでください。
衣類などを器具の上に置いたりしますと、温風の出口や吸込口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり大変危険です。

特に注意していただきたいこと②

使用電源についてのご注意

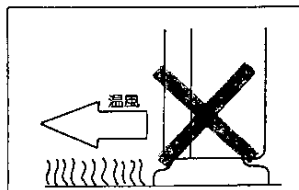
●電源の電圧と周波数を確かめてください。
この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、調整または改造の必要があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

使用場所についてのご注意

●理・美容院、メッキ・塗装工場、繊維関係の工場などスプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所でのご使用はお避けください。器具の故障の原因になります。

●家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。後の壁から5cm、横の壁または上側のいずれか一方は、50cmあとは5cm、前方1m以内に家具・建具などの障害物のない位置を選んでください。

●器具の使用場所は、お部屋の元せんの近くをお選びください。
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりするおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くで使用してください。（3m以内）

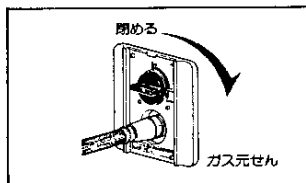
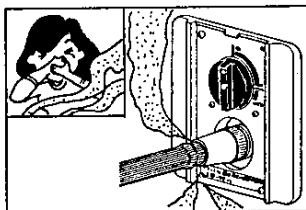
●強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で消えることがあります。換気するときにも、強い風があたらないようにご注意ください。

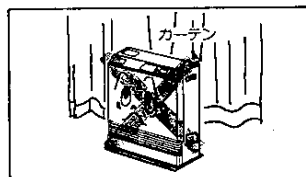
●毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、敷き板等を敷いてください。
温風がじゅうたんにあたり、変色するおそれがあります。

特に注意していただきたいこと③

使用上のご注意

ガス漏れ予防

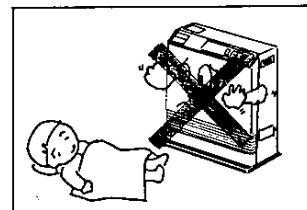
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。
  ビニル管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。
  古くなりますと、抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。

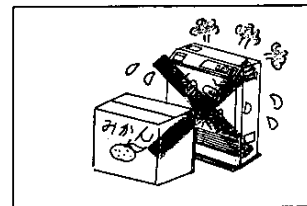
- 使用後は必ず点火スイッチを切り消火したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみの際には、ガス元せんも必ず閉じてください。

火災予防

- 器具の上やそばに、燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）をおいたり近づけたりしないようにしてください。また、紙、布、など可燃物を温風吹出口や吸込口に入れないでください。
  火災のおそれがあります。
- ヘアースプレーなど引火物を、器具の近くで使用しないでください。
  炎は見えていませんが、引火するおそれがあります。
- 火をつけたまま器具を移動させないでください。
  ゴム管が折れ曲がったり、抜けたりして危険です。
- 外出・就寝時には、必ず消火してください。

特に注意していただきたいこと④

やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、温風吹出口とその周辺およびエアーフィルター部は熱くなりやけどの恐れがありますので、手を触れたりしないでください。
  特に、小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。

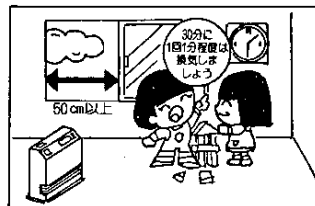
- 温風をじかに長時間お体にあてますとやけどのおそれがあります。特に乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方などがお使いになるときは、周囲の方が注意してあげてください。

過熱防止

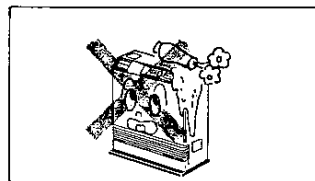
- 温風吹出口の前に物を置いたり、器具の後面（エアーフィルター部および吸気フィルター部）をふさいだりしないでください。
  異常過熱して、器具に悪影響をあたえるばかりでなく、お部屋があったまらないこともあります。

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、ガスを外へ出してから、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。
  火や火花で引火し爆発事故を起こす危険性があります。

特に注意していただきたいこと⑤

換気のご注意

● 使用中は30分に1回、1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして十分な換気をおこなってください。
この器具は強制給排気式（ＦＦ式）ではありませんので換気が必要です。

水ぬれのご注意

● 器具に水は禁物です。花びんをのせたり、水のかかる所で使用しないでください。
内部が水でぬれますと、腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険があります。

異常時の処置

● ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用をやめ(点火スイッチ、 ガス元せんを閉じる)十分な点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。〕

日常の点検・手入れ

● 日常の点検・手入れは必ず行なってください。
（詳しくは14ページをお読みください）

● 故障または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。

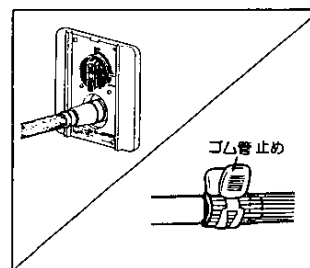
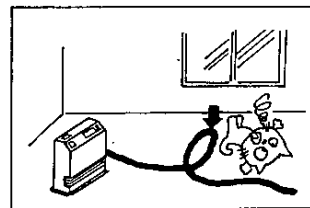
器具の設置

使用場所についてのご注意

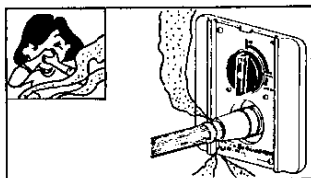
● ご使用になる場合は、3ページの使用場所についてのご注意をお読みください。

ゴム管の接続

● 「カチット」方式の接続は確実に押しこんでください。

● ゴム管は 9.5㎜φ(内径 9.5㎜) のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドとも赤線まで十分に差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。
ゴム管止めでしっかり止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。

● ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないように、できるだけ短かくし（3ｍ以内)、また器具の下を通したり器具に触れたりしないようにして使用してください。

● ゴム管の器具接続や、元せん接続に、「カチット」を接続すれば、接続が簡単で便利になるだけでなく、不十分なゴム管接続によるガス漏れを防ぐことができます。

器具の設置②

●ゴム管は良質のものを用い、使用3年位を目安にとりかえてください。
ゴム管が古くなりますと、ガス元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。

使用手順

はじめてお使いのとき

はじめてお使いのときや、しばらく使用されなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、すぐに点火しない場合があります。この場合は、点火操作を再度くり返してください。

点火前の準備と確認

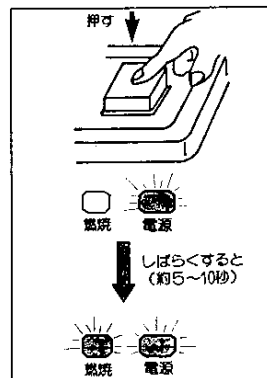
●電源プラグを交流100Ｖのコンセントにしっかりとさしこんでください。

<ご注意>
交流100Ｖ用コンセントであることを確認してください。200Ｖ等の場合、器具がこわれてしまいます。

●点火スイッチの 切 を確認し、ガス元せんを全開にしてください。

<ご注意>
ガス元せんが全開になっていないと点火しにくかったり、正常な燃焼ができなくなり、安全装置で消火してしまうことがあります。

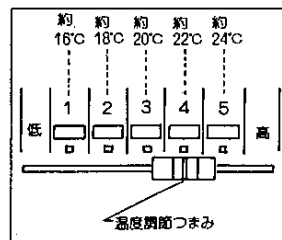
使用手順②

点　火

●点火
①点火スイッチを 入 の位置まで確実に押してください。
この時「電源」ランプ（緑色）が点灯します。
②点火スイッチ 入 後5～10秒程して「燃焼」ランプ（赤色）が点灯するのを確認してください。

<ご注意>
●点火操作をしても室温が高い場合は、電源ランプは点灯しますが燃焼ランプが点灯しないことがあります。
温度調節つまみを高温側にすれば点火し燃焼します。
●はじめてお使いのときや、しばらくお使いにならなかったあとなどは、ゴム管内に空気が入っているため、点火するまでに時間がかかることがあります。点火するまでしばらくお待ちください。50秒程たっても点火しない場合は、スパークが止まります。再度点火操作をしてください。

●暖房運転の開始
点火後、１分程して、ルームサーモ（室温調節器）の働きによって、運転状態が自動的に切り替わります。（以後は自動的に行なわれ、手をふれる必要はありません）

<ご注意>
点火したあとやルームサーモ（室温調節器）が作動したあとおよび消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で異常ではありません。

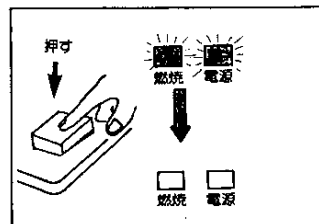
●消火後の再点火
消火後再び運転される場合は、対流ファンが回っていないことを確認してから点火操作を行なってください。消火後、約80秒間は点火操作をしても点火しません。また必要以上に点火・消火をくりかえさないでください。着火音が大きくなったり、器具が過熱することがあります。再点火時に「ボッ」と音がすることがありますが、異常ではありません。

温度調節

●温度調節つまみでお好みの温度に調節してください。
ルームサーモ(室温調節器)の働きにより、「強燃焼」、「弱燃焼」、「燃焼停止」の切り替えで自動的に室温をほぼ一定に保ちます。

温度調節つまみ・室温表示ランプの位置と温度のめやす

目盛りおよびランプ	温度のめやす
1	約16℃くらい
2	約18℃くらい
3	約20℃くらい
4	約22℃くらい
5	約24℃くらい

<ご注意>
温度調節つまみのセット温度は、ルームサーモ感温部の温度です。部屋の温度計とは必ずしも一致しません。温度調節つまみの位置と室温表示の位置は必ずしも一致するとは限りません。あくまでもめやすと考えてください。
家屋の構造、外気温度、使用位置によっては、お好みの温度にならない場合があります。
「強燃焼」時は「電源ランプ点灯」「燃焼ランプ点灯」「対流ファン強回転」
「弱燃焼」時は「電源ランプ点灯」「燃焼ランプ点灯」「対流ファン弱回転」
「燃焼停止」時は対流ファンは約3分間回転した後に停止します。
「電源ランプ点灯」「燃焼ランプ消灯」

消　火

①点火スイッチを押して「切」まで確実にもどったことを確認してください。
②燃焼ランプは消えますが対流用ファンは約3分間回り続けて、自動的に止まり、電源ランプが消えます。
●ご使用後は、ガス元せんも閉じてください。

<ご注意>
消火後、対流ファン(温風)が止まるまで電源プラグは抜かないでください。
器具内部の熱を出して過熱をふせぐために必要です。使用中、電源プラグを抜いて消火することはしないでください。

停電時の処置

●停電時の処置
停電になったときは、点火スイッチを 切 にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。
●停電後の再点火
ガス元せんを全開にし、通常の点火操作を行なってください。
停電後すぐに点火スイッチを 入 にしても約80秒たたないと点火動作に入りません。

<ご注意>
使用中停電になったとき対流ファンが止まるため、器体上部が過熱します。
器体上部にふれないでください。(すぐに再通電したときは、対流ファンだけ回り過熱をふせぎます。)

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●過熱による消火時の処置
エアーフィルターや吸気フィルターが目づまりしたり、温風吹出口に障害物があったりした場合には器具内が異常に過熱します。この場合、自動的にガス通路を閉じ、消火してしまいます。
エアーフィルター及び吸気フィルター部の掃除や、障害物を取り除いた後、しばらく(5～6分)してから再点火してください。(電源プラグは対流用ファンが回っているあいだは抜かないでください。)

●過熱防止用温度ヒューズの作動
万一異常過熱したときに、温度ヒューズが作動して消火します。
この場合は、器具を冷やしても再点火できません。修理が必要です。お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●電流ヒューズの作動
ご使用中なんらかの原因で過電流が流れると、電流ヒューズが切れて、使用できなくなります。点火操作をしても「電源」ランプがつかなくなります。修理点検が必要です。
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

●停電安全装置の作動
停電時は使用できません。安全装置が作動し、運転を停止します。
停電中は必ず点火スイッチを 切 にもどし、ガス元せんを閉じておいてください。
11ページの「停電時の処置」をお読みください。

●転倒時ガス遮断装置
器具が転倒した場合、激しい衝撃が加わった時などに作動して消火します。
この場合は、いったん 切 にもどし再点火してください。

安全装置が作動したときの処置方法②

●消火センサー(安全装置)の作動
使用中にバーナーが消えた場合に安全装置が働き、生ガスの放出を防止します。
ゴム管を踏んだり、ガス元せんが開きたりなかったときや、強い風が吹いたときなどにおこります。
点検後、再点火してください。

●不完全燃焼防止装置の作動
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。エアーフィルターや吸気フィルターがつまっても同様です。
このような場合に、不完全燃焼をする前に燃焼を停止する安全装置です。不具合を点検してから再点火してください。

●ファンコントローラ(送風制御装置)
電気回路中に組み込まれている送風制御装置で、燃焼停止時、消火後に器具の過熱を防止します。対流用ファンは消火後約3分間は止まりません。回っている間は電源プラグは抜かないようにしてください。消火後すぐに電源プラグを抜いたり、電源プラグを抜いて消火しますと、器具が過熱して故障の原因になります。また、器体上部が過熱してやけどの危険があります。
(いったん停止後再び回転する場合があります。)

<ご注意>
安全装置が作動したあと、点検して再点火しても、たびたび同じように作動をくりかえすような場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

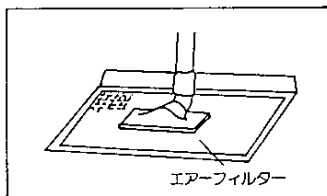
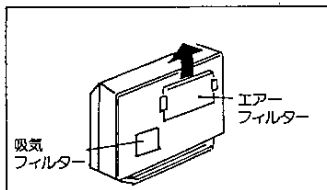
点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。
点検・手入れ前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。また電源プラグを抜いてから行なってください。

点　　検

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなったり、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものが置いてないか点検してください。

お手入れ

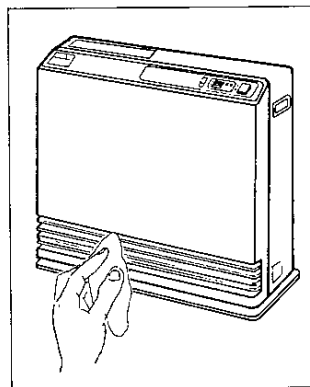
■フィルターのお手入れ

- エアーフィルターや吸気フィルターは週一度以上必ず掃除してください。エアーフィルターは図のように上方に引き出し、電気掃除機などでよく掃除してください。よごれがひどいときは、ぬるま湯で洗ってよく乾かしてからご使用ください。
- 吸気フィルターは外れませんが、電気掃除機などでこまめに掃除してください。
- エアーフィルターや吸気フィルターにゴミやホコリがたまると室内循環用の風量が減って暖房効果が悪くなるばかりでなく、異常過熱や、安全装置の作動の原因になります。

器具外装のお手入れ

- やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。汚れがひどいときは、液状の洗剤を布にふくませて汚れをおとしてください。このときは、洗剤をよくふきとってください。

<ご注意>

- 金属たわし、みがき砂などは使用しないでください。またベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対に使用しないでください。キズがついたり色があせたりします。

- 温風吹出口に白い粉が付着することがありますが、異常ではありません。やわらかい布でふき取ってください。

故障・異常の見分け方と処置方法

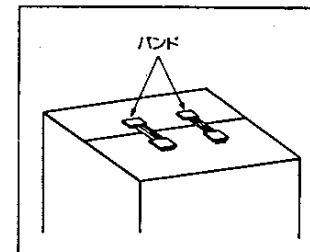
ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象／原因	電源ランプが点灯しない(緑色)	スパーク音がしない	点火しにくい 点火しない(燃焼ランプが点灯しない)(赤色)	ガスの臭いがする	使用中に消火する	異常な音をたてる(消えてしまう)	部屋の暖まりが悪い	処置方法	参照ページ
電源プラグが差し込んでない	○	○	○					電源プラグを確実に差し込む	8
ガス元せんの開き忘れ・開き不十分			○	○	○		○	ガス元せんを全開にする	8
ゴム管内に空気が残っている			○	○				点火操作をくり返してください	9
ゴム管の接続が不完全				○				確実に接続する	7 8
ガスの種類が違う			○	○	○	○	○	本体右側面の銘板を確認してください	2
ゴム管が長すぎる ゴム管の折れ曲がり・つぶれ			○	○	○		○	不具合を除き再点火してください	3 7
ゴム管のひび割れ・穴あき				○				ゴム管を交換・先を切りつめる	8
サーモが「低温」側になっている			○				○	サーモの設定より室温が高いため「燃焼停止」になっている。サーモを「高温」側にする。	9 10
換気が不十分である					○			30分に1回1分程度換気する	6 13
フィルターがつまっている 吹出口に障害物がある			○	○	○	○	○	日常の点検・手入れを実施してください。障害物を除き再点火してください。	13 14
点火（燃焼を開始）したばかりである				○				点火時、少し臭うことがあります	–
スパーク装置の故障（コード外れなど）		○	○					点検修理を依頼する	–
安全装置が作動した	○	○	○		○	○	○	点検修理を依頼する	12 13

●処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

●各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニルをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンド）などにはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。保管場所は、高温になる所や、直射日光のあたる所はさけてください。

●なお梱包の際は付属のバンドを下記の要領で使用してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

●16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品　名……(ファンヒーター)
(2) 品　番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(N)43-724(U)
大阪ガス株式会社 00

(3) 現　象……(できるだけ詳しく)
(4) 道　順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

●ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区別があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買上げの店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。
この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

●電源周波数が異なる地域へ転居される場合は、調整または改造の必要があります。この場合に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

●この器具には保証書がついています。
このファンヒーターは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特　　長

1 設置工事が不要で手軽に温風暖房機の快適さが得られます。また使用場所の移動が可能です。

2 暖房の立ち上がりが早く、温風下吹き出しによる暖房効果のよさと、ルームサーモ(温度調節器)を備えたファンヒーターです。

3 プッシュボタン式のため、操作が簡単です。

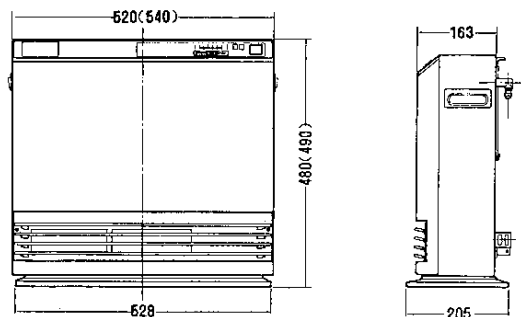
4 換気不足や、フィルターほこりつまり時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付きです。

5 ルームサーモ（温度調節器）により、「強燃焼」「弱燃焼」「燃焼停止」の3段に燃焼を制御しています。お部屋の温度をこまめにコントロールし、暖めすぎることがなく経済的です。

6 スマートでデラックスなイメージのデザインです。

寸法図と仕様一覧表

寸法図

〔単位mm〕

(　)内は43-725型の寸法です

仕様一覧表

項目	43-724型				43-725型			
	GS-25MS(G)			GS-25MS(P)	GS-32MS(G)			GS-32MS(P)
	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス	都市ガス 6C	都市ガス 13A	都市ガス 6A	LPガス
ガス消費量(kcal/h)	2500	2500		kg/h	3200	3200		kg/h
暖房のめやす	6～9畳（10～15㎡）				8～12畳（13～20㎡）			
外形寸法（mm）（高さ×幅×奥行）	480×520×163（脚部分 幅205）				490×540×163（脚部分 幅205）			
重量（kg）	12.4				13			
電気消費量（W）	強31 弱24				強30 弱24			
接 ガス	9.5mmφ ガス用ゴム管							
続 電気	AC100V、60Hz(電源コード長さ2m)							
燃焼方式	全一次表面燃焼式							
給排気方式	開放式							
放熱方式	強制対流式							
点火方式	電源スパーク点火式							
安全装置	○消火センサー ○不完全燃焼防止装置(SnO_2センサー) ○過熱防止装置(バイメタルスイッチ 温度ヒューズ) ○転倒時ガス遮断装置 ○電流ヒューズ ○停電安全装置 ○ファンコントローラ							

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。